

学認 Survey システム
利用者向け操作マニュアル（詳細版）

【初版】

2022年11月09日
国立情報学研究所

目次

1. はじめに	2
1-1. 本マニュアルについて	2
1-2. 注意事項	2
1-3. リマインドメールについて	2
1-4. 一時保存機能	3
1-5. 設問内容、回答結果 印刷機能	4
2. ログインについて	5
2-A. 学認 Survey システムによるログインについて	5
2-B. 学認 Survey システム (CGS 連携バージョン) によるログインについて	6
3. 調査回答について	9
3-1. 調査回答	9
3-2. 調査確認画面へ進む	9
3-3. 調査回答内容確認	10
3-4. 調査登録完了	10
3-5. 回答後の参照方法について	10

1. はじめに

1-1. 本マニュアルについて

本マニュアルは学認 Survey システムの利用者向け操作方法を記載しております。

学認 Survey システムには、ログイン方法が2パターンあります。1パターン目は、「学認 Survey システム ログイン ID、パスワード等のご案内」に記載されたログイン ID とパスワードを用いて「学認 Survey システム」に直接ログインする方法（2-A 参照）です。2パターン目は、学認申請システムに登録されている運用責任者様と運用担当者様が、そこに登録されている ID とパスワードを用いて「学認 Survey システム（CGS 連携バージョン）」にログインする方法（2-B 参照）です。なお、学認 Survey システム（CGS 連携バージョン）が利用できるのは、学認クラウドゲートウェイサービスに参加している機関のみとなります。ご回答者様におかれましては、上記2パターンのいずれかでログインしてください。

1-2. 注意事項

- 1) 学認 Survey システムへログイン後 60 分以内に、「一時保存」もしくは「送信」ボタンを押されなかった場合、ログインが切断され入力した調査内容が破棄されますのでご注意ください。
- 2) 複数端末から同じ時間帯にログインし、調査内容を入力された場合、最後に保存された方の内容が適用されます。
- 3) 本調査は必須マークがついている設問は回答必須です。また、必須マークのない設問についても、対象となる設問は、必ずご回答ください。
- 4) 本調査にご回答いただく際、ご担当がわかれている場合は、適宜当該部門にご確認のうえ、ご回答ください。

1-3. リマインドメールについて

回答期限が近づき、まだご回答いただけていない場合、リマインドメールを送信させていただきます。リマインドメールの内容をご確認いただき、回答期限までにご回答ください。

なお、連絡配信手段として、貴機関にて学認申請システムに登録された運用責任者様、運用担当者様および連絡先のメールアドレスをメーリングリスト化し（meatmail にて）、送信先として使用させていただきますので、ご承知おきください。

1-4. 一時保存機能

- 1) 調査回答画面の右下にある「一時保存」ボタン（図1）をクリックし、一時保存確認画面へ進んでください。



図1. 調査回答画面「一時保存」ボタン

- 2) 表示された一時保存確認画面にて、画面上部（図2）または、画面最下部（図3）にある「一時保存」ボタンをクリックし、一時保存をおこなってください。「一時保存」ボタンをクリック後、調査はデータベースに登録されます。また、「戻る」ボタンをクリックすることで、調査入力画面へ戻り、入力内容を変更することが可能です。

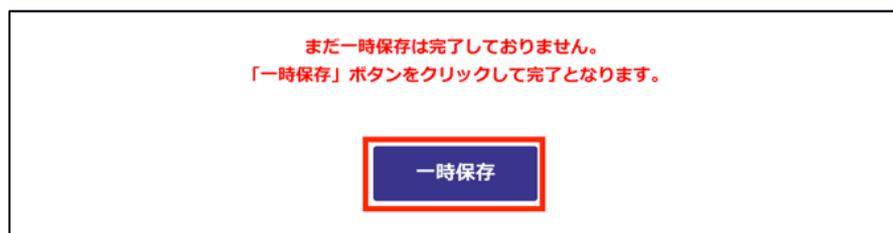


図2. 一時保存確認画面_画面上部にある「一時保存」ボタン

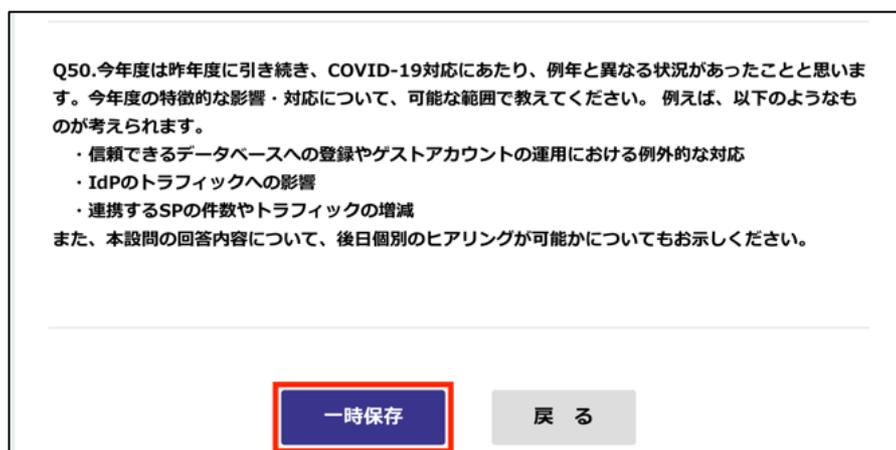


図3. 一時保存確認画面_画面最下部にある「一時保存」ボタン

- 3) 前項一時保存確認画面にて、「一時保存」ボタンをクリック後、一時保存完了画面(図4)が表示されましたら、一時保存完了となります。再度修正する場合は、ログイン画面からやり直してください。

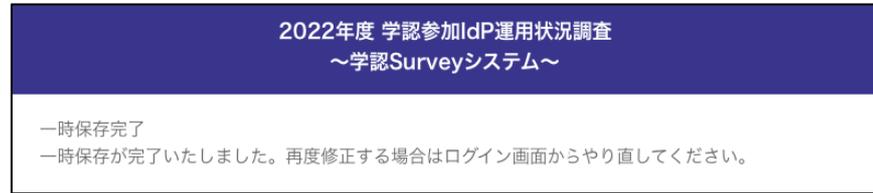


図4. 一時保存完了画面

1-5. 設問内容、回答結果 印刷機能

各画面の上部にある「印刷はこちらから」ボタン(図5)にて、画面印刷ができます。こちらは調査内容や回答結果を印刷することで各機関内での確認や承認にお使いください。

※この入力画面を印刷される場合は「印刷はこちらから」より印刷・PDFへ保存ください。

印刷はこちらから

図5. 調査回答画面_印刷ボタン

2. ログインについて

2-A. 学認 Survey システムによるログインについて

学認 Survey システム (CGS 連携バージョン) へログインする場合は 2-B を参照してください。

- 1) 以下の学認 Survey システム URL へアクセスします。

https://idp-survey.gakunin.nii.ac.jp/webapp/form/25112_wdlb_1/index.do

- 2) ログイン画面(図 6)が表示されたら、事前に郵送されている「**学認 Survey システム ログイン ID、パスワード等のご案内**」文書に記載のある ログイン ID と パスワード を入力し、「ログイン」ボタンをクリックすることにより、調査回答画面へ接続できます。

2022年度 学認参加IdP運用状況調査
~学認Surveyシステム~

学認参加IdP運用状況調査にご協力いただきましてありがとうございます。
今年度の調査は、設問1~47まで、令和3年度と同様の設問を設定しております。前年度調査票をご参照の上ご回答ください。
※60分で接続が切れますので、一時保存をご利用するようにしてください。
※同じIdPのご回答者が同時に接続された場合、最後に保存したユーザーの内容が反映されます。ご注意ください。
※ご不明点は国立情報学研究所 学認事務局までお問合せください。

ログインID

パスワード

ログイン

図 6. ログイン画面

- 3) ログイン後、「3. 回答調査について」に続きます。

2-B. 学認 Survey システム (CGS 連携バージョン) によるログインについて

- 1) 学認 Survey システム (CGS 連携バージョン) を利用できるのは、学認クラウドゲートウェイサービスをご利用されている機関で、2022 年 10 月 26 日時点で学認申請システムに運用担当者として登録されている人、および運用責任者かつ ePPN が登録されている人となります。
- 2) 以下の学認 Survey システム (CGS 連携バージョン) URL にアクセスします。
<https://survey.gakunin.nii.ac.jp/questionnaire/login>
「学認クラウドゲートウェイサービス」のサイトから「学認参加 IdP 運用状況調査」アイコンをクリックしていただいても、上記 URL へアクセスできます。
- 3) 次の所属している機関を選択する画面 (図 7) にて、ご所属の機関を選択してください。

① 「学認クラウドゲートウェイサービス」ではあなたが利用可能なサービスを一覧でき、カスタマイズもできます

所属機関: 

OpenIdP 

ブラウザ起動中は自動ログイン

学認クラウドゲートウェイサービスは利用規程に基づいて運用されており、学認クラウドゲートウェイサービスをご利用された時点で本規程に同意されたものとみなされます。ご利用前に利用ガイドラインを必ずお読みください。
なお、OpenIdP 含め利用申請されていない機関所属の方は後述の通りグループ機能のみ利用可能です。該当する方は利用規程の解釈が異なりますのでグループ機能利用ガイドラインをお読みください。

本サービスは研究・教育活動に必要な各種クラウドサービスや電子ジャーナル等のオンラインサービスにワンストップでアクセスするためのポータルです。
利用申請済みの機関の方は、機関契約を行っているサービスやグループで利用しているサービスなどに素早く、簡単に、アクセス可能となります。
未申請の機関の方はグループ機能 (MYグループ) のみ利用可能です。利用申請は随時受け付けておりますので <https://cloud.gakunin.jp/cgw/> をご参照ください。

GakuNin Cloud Gateway Service provides portal functionality to access all of the online services from one place, such as the various cloud services necessary for research and educational activities as well as electronic journals.
Constituent members of one of universities and research institutions, i.e. the organization, can easily and quickly access the list of services they want to use such as the services contracted by their organization, by accessing this service via authentication infrastructure operated by their organization. Furthermore, administrators of the organization can count on a highly-convenient system for members of their organization, such as the ability to customize service lists to display for users.

図 7. 所属している機関を選択する画面

- 4) 所属機関ログイン画面 (図 8) にて、各所属機関に準じた アカウント と パスワード を入力し、ログインを実行してください。(所属している機関を選択する画面およびユーザ名とパスワード入力画面の画面に続き、属性送信同意画面が出る場合があります。)

学認 GakuNin

本テストIdPでは、学認申請システムで「受信する属性情報」に指定された属性のみ送信されます。「受信する属性情報」が設定されていない場合、およびテンプレート外のメタデータを使っていてその中で <md:RequestedAttribute> が定義されていない場合は、送信可能なすべての属性を送信します。ただし、いずれの場合もisMemberOf属性は送信されません。isMemberOf属性の受信を希望される場合は学認クラウドゲートウェイサービスとの連携をご確認ください。

ログインサービス: 学認クラウド
ゲートウェイサービス (開発環境2)

ユーザ名
パスワード

ログインを記憶しません。
 送信する情報を再度表示して送信の可否を選択します。

Login

図 8. アカウントとパスワード入力画面 (画面イメージは所属機関で異なります)

- 5) 属性情報を学認 Survey システムに開示してもよいかの確認画面 (図 9) にて、「許可する」ボタンをクリックすることにより、調査回答画面へ接続できます。

学認クラウドゲートウェイサービスのグループ機能(mAP Core)

サービス'学認Surveyシステム'に対して以下の属性送信と、サービスがあなたの代わりにグループへの参加、グループの作成・管理等操作することを許可しますか?

氏名
所属
メールアドレス
プリンシパルID(ePPN)

許可する

図 9. 学認 Survey システムに対する属性情報の開示確認画面

6) ログイン後、「3. 回答調査について」に続きます。

なお、学認 Survey システム (CGS 連携バージョン) にログインする権限がない人がログインすると、権限エラーが発生しエラー画面 (図 10) が表示されます。エラー画面の内容に従ってお試してください。

権限エラー - 学認Surveyシステム

あなたには学認参加IdP運用状況調査に回答する権限が与えられておりません。回答できる方は、学認申請システムに運用担当者として登録されている方、運用責任者かつePPNが登録されている方、およびそれらの人から回答者として指名された方です。

もし該当するにもかかわらずこの画面が表示された場合は次のことをご確認ください。大学やOpenIdPなど複数のIdPにIDをお持ちの場合、もしくは同じIdPに複数のIDをお持ちの場合は、[学認申請システム](#)に登録されているほうのIDで認証を行ったか、今一度ご確認ください。

別のIDでお試しになる場合は、一旦以下のリンク先にアクセスしログアウトした後で再度最初からお試してください。

⇒[ログアウト](#)

⇒[学認Surveyシステム \(CGS連携バージョン\)](#)

さらに、所属機関選択がスキップされ再選択できない場合は以下のリンク先で所属機関情報をリセットしてから再度お試しください。

⇒[所属機関設定ページ](#)

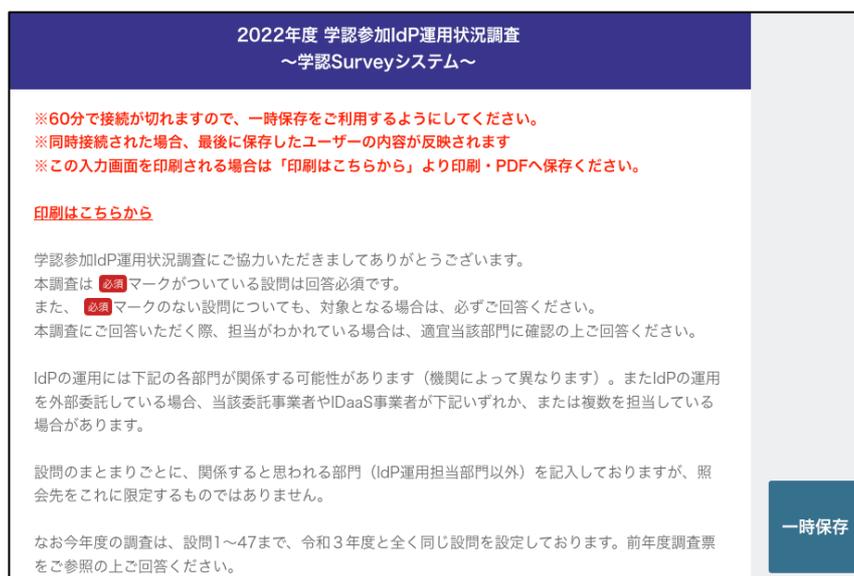
⇒[学認Surveyシステム \(CGS連携バージョン\)](#)

図 10. 学認 Survey システムの権限エラー画面

3. 調査回答について

3-1. 調査回答

ログイン後、調査回答画面(図11)に遷移しますので、内容をご回答ください。
回答方法は設問により異なり、テキスト形式や選択形式による入力があります。



The screenshot shows the top page of a survey titled "2022年度 学認参加IdP運用状況調査 ~学認Surveyシステム~". It contains several paragraphs of instructions and a "一時保存" (Save) button on the right side.

2022年度 学認参加IdP運用状況調査
~学認Surveyシステム~

※60分で接続が切れますので、一時保存をご利用するようにしてください。
※同時接続された場合、最後に保存したユーザーの内容が反映されます
※この入力画面を印刷される場合は「印刷はこちらから」より印刷・PDFへ保存ください。

[印刷はこちらから](#)

学認参加IdP運用状況調査にご協力いただきましてありがとうございます。
本調査は **必須** マークがついている設問は回答必須です。
また、**必須** マークのない設問についても、対象となる場合は、必ずご回答ください。
本調査にご回答いただく際、担当がわかれている場合は、適宜当該部門に確認の上ご回答ください。

IdPの運用には下記の各部門が関係する可能性があります(機関によって異なります)。またIdPの運用を外部委託している場合、当該委託事業者やIDaaS事業者が下記いずれか、または複数を担当している場合があります。

設問のまとまりごとに、関係すると思われる部門 (IdP運用担当部門以外) を記入しておりますが、照会先をこれに限定するものではありません。

なお今年度の調査は、設問1~47まで、令和3年度と全く同じ設問を設定しております。前年度調査票をご参照の上ご回答ください。

一時保存

図 11. 2022 年度 学認参加 IdP 運用状況調査のトップ画面

3-2. 調査確認画面へ進む

Q1~Q50 までの設問の入力が完了しましたら、画面下部にある「送信」ボタン(図12)をクリックし、調査回答内容確認画面へ進んでください。



The screenshot shows a survey question Q50 titled "[COVID-19対応について]". It includes a text input field and a "送信" (Send) button at the bottom.

【COVID-19対応について】

■本設問は任意回答です。必須ではございません。

Q50.今年度は昨年度に引き続き、COVID-19対応にあたり、例年と異なる状況があったことと思います。今年度の特徴的な影響・対応について、可能な範囲で教えてください。例えば、以下のようものが考えられます。

- ・信頼できるデータベースへの登録やゲストアカウントの運用における例外的な対応
- ・IdPのトラフィックへの影響
- ・連携するSPの件数やトラフィックの増減

また、本設問の回答内容について、後日個別のヒアリングが可能かについてもお示しください。

送信

図 12. 調査回答画面 「送信」 ボタン

3-3. 調査回答内容確認

調査回答内容確認画面にて、ご回答内容にお間違えがないかご確認ください。

「送信」ボタン（図 13）をクリックし、調査の登録をおこなってください。

「送信」ボタンをクリック後、調査はデータベースに登録されますが、調査期間中は調査内容の修正が可能です。

また、「戻る」ボタンをクリックすることで、調査回答画面へ戻り、入力内容を変更することが可能です。



Q50.今年度は昨年度に引き続き、COVID-19対応にあたり、例年と異なる状況があったことと思いません。今年度の特徴的な影響・対応について、可能な範囲で教えてください。例えば、以下のようなものが考えられます。

- ・信頼できるデータベースへの登録やゲストアカウントの運用における例外的な対応
- ・IdPのトラフィックへの影響
- ・連携するSPの件数やトラフィックの増減

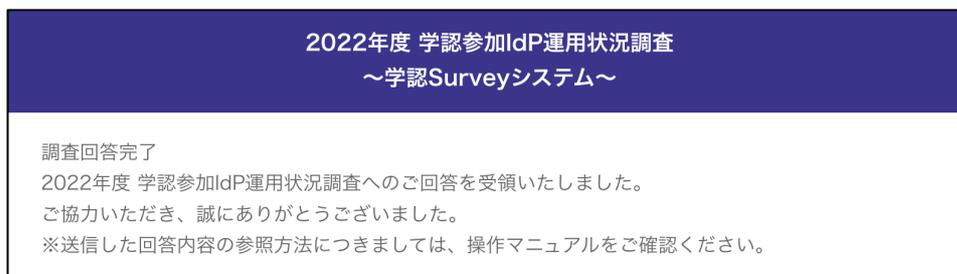
また、本設問の回答内容について、後日個別のヒアリングが可能かについてもお示しください。

送信 戻る

図 13. 調査回答内容確認画面

3-4. 調査登録完了

調査回答内容確認にて、「送信」ボタンをクリック後、調査回答完了画面（図 14）が表示されましたら、登録完了となります。



2022年度 学認参加IdP運用状況調査
～学認Surveyシステム～

調査回答完了
2022年度 学認参加IdP運用状況調査へのご回答を受領いたしました。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。
※送信した回答内容の参照方法につきましては、操作マニュアルをご確認ください。

図 14. 調査回答完了画面

3-5. 回答後の参照方法について

回答期間中であれば、ログインをし直すと回答内容参照することができます。送信後に一時保存してしまうと、回答中のステータスに戻り、リマインドメールの対象となるためご注意ください。

不明な点や相談を要する点などございましたら、
以下までお問い合わせください。

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術基盤課
学認参加 IdP 運用状況調査担当
メールアドレス：gu-survey@nii.ac.jp